

【跳馬】

- ・ウォーミングアップにおいて、各選手合計3回までの練習が認められる。
- ・助走は25m以内で行い、メジャーは、着地マットの先端を0mとする。

【段違い平行棒】

- ・足裏支持回転→足裏支持回転（屈身）（冊子P13）

【平均台】

- ・終末技はどちらの方向でも着地が認められる。（マットの移動可）
- ・開始技での、踏み切り板の使用を認める。
- ・演技の途中で脚の変更を行った場合、次の変更箇所までは規定された通りに演技しなければならない。
- ・前方倒立回転から片足着台し、左脚を曲げ伸ばし後もどす。（チックタック）
→前方倒立回転から片足着台し、右脚を曲げ伸ばし後もどす。に訂正。（冊子P16）
- ・タイム減点はしない。

【ゆか】

- ・ジャンプシリーズ部分で、リープジャンプを反対脚で行った場合

※左足で着地後、浮き足の右足を後方へ出し、左へ1/4ひねりながら左足前5番ポジションで立つ。

- ・選手は、右足先行または左足先行の動きどちらかを選択して演技しなくてはならない。（ターンやジャンプ、アクロバットは指定された場所でのみ変えることができるが、その後、動きや方向は変えられない。）

[例]・右足先行の動きで始まり→要素終了後に左足先行の方向へ動くことは認められない。

減点項目の追加並びに変更について

【段違い平行棒・平均台・ゆか】において

◆追加項目

要素変更 -0.5

- [例]・ほんてん倒立を試みたが、ともえになってしまった→ 要素変更 -0.5
- ・ほんてん倒立を試みたが、倒立に入る前に落下してしまい、ほんてんをやり直さず演技を続けた場合→ 要素変更-0.5+大過失-0.5
 - ・ほんてんをやり直し成功した場合→ 大過失 -0.5

要素なし -1.0

【段違い平行棒】

◆追加項目

- ・後方足裏支持回転（屈身） 膝が曲がる -0.1
- ・ほんてん倒立 終了時の倒立角度30° まで -0.3まで
30° よりはずれる 要素変更

【平均台】

◆変更

- ・脚交差前後開脚とび～シソソヌ
リズムとテンポの欠如 -0.3まで → 連続性がない -0.3に変更(冊子P 1 8, No. 10)
- ・1回ターン～1/2ターン
リズムの欠如 -0.1 → 留まりがある -0.1に変更(冊子P 1 8, No. 12)

◆補足説明

☆芸術性に乏しい演技（減点対象項目）

- ・演技が美しい体線で行われない。
- ・重心の高い演技ができない。（不完全なトリ立ちなど）
- ・胸・肩・腕を含む、柔軟性の質に欠ける。

【ゆか】

◆補足説明

☆芸術性に乏しい演技（減点対象項目）

- ・音楽にあっていない
- ・演技が美しい体線で行われない。
- ・体の使い方が不十分である（演技全体を通して雄大性に欠ける）（大きさが無い）